

簿記3級検定試験 問5想定問題②『財務諸表』

決算整理前合計残高試算表から決算整理仕訳を処理し、貸借対照表・損益計算書を作成しなさい。
会計期間は、平成12年04月01日から平成13年03月31日までとする。

資料①

決算整理前合計試算表
平成13年3月31日

借方	勘定科目	貸方
25,000	現金	20,000
	現金過不足	250
23,500	当座預金	13,000
80,000	受取手形	60,000
110,000	売掛金	50,000
10,000	貸付金	
6,000	売買目的有価証券	
28,000	繰越商品	
500	仮払金	
20,000	備品	
100,000	建物	
35,000	買掛金	71,000
	貸倒引当金	1,470
	建物減価償却累計額	41,400
	備品減価償却累計額	3,600
	借入金	30,000
	資本金	120,000
	売上	120,000
	受取利息	200
78,000	仕入	1,000
6,900	給料	
2,000	広告宣伝費	
4,000	通信料	
1,520	支払家賃	
1,500	支払利息	
531,920		531,920

資料②

- ① 現金過不足は、決算日になっても原因が不明であったので、適正な科目に振り替える。
- ② 以前2,000円で掛けて販売した商品が返品されていたが、その処理を忘れていた。
- ③ 商品の期末棚卸高は、25,500円であった。②で返品された商品も含まれている。
- ④ 仮払金のうち300円は通信費、残額は広告宣伝費の支払いにかかわるものである事が判明した。
- ⑤ 受取手形、売掛金および貸付金の期末残高に対して、2%の貸倒引当金を設定する(差額補充法)。
- ⑥ 売買目的有価証券の時価は5,500円であった。
- ⑦ 建物および備品に対して定額法により減価償却を行う。
耐用年数: 建物50年 備品10年
なお残存価額は建物、備品とともに取得原価の10%とする。
- ⑧ 受取利息は、年利率2%で毎年10月01日に向こう1年分を受け取っている。
- ⑨ 支払利息は、平成12年12月01日に年利率5%で借り入れた30,000円から生じたものの1年分の前払いである。
- ⑩ 平成13年03月10日に掛けて販売した1,000円の処理漏れが判明した。

解答用紙

貸借対照表

平成13年3月31日

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金		買掛金	
当座預金		貸倒引当金	
受取手形		借入金	
売掛金		()利息	
貸付金		備品減価償却累計額	
売買目的有価証券		建物減価償却累計額	
商品		資本金	
備品			
建物			
()利息			

損益計算書

平成13年3月31日

勘定科目	金額	勘定科目	金額
売上原価		売上高	
給料		受取利息	
広告宣伝費		()益	
通信料			
支払家賃			
支払利息			
貸倒引当金()			
有価証券()			
減価償却費			

解答

貸借対照表

平成13年3月31日

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	5,000	買掛金	36,000
当座預金	10,500	貸倒引当金	1,780
受取手形	20,000	借入金	30,000
売掛金	59,000	(前受)利息	100
貸付金	10,000	備品減価償却累計額	43,200
売買目的有価証券	5,500	建物減価償却累計額	5,400
商品	25,500	資本金	120,000
備品	20,000	当期純利益	20,020
建物	100,000		
(前払)利息	1,000		
	256,500		256,500

損益計算書

平成13年3月31日

勘定科目	金額	勘定科目	金額
売上原価	79,500	売上高	119,000
給料	6,900	受取利息	100
広告宣伝費	2,200	(雑)益	250
通信料	4,300		
支払家賃	1,520		
支払利息	500		
貸倒引当金(繰入)	310		
有価証券(評価損)	500		
減価償却費	3,600		
当期純利益	20,200		
	119,530		119,350

解答仕訳

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	現金過不足	250	雑益	250
②	売上	2,000	売掛金	2,000
③	仕入	28,000	繰越商品	28,000
	繰越商品	25,500	仕入	25,500
④	通信料	300	仮払金	500
	広告宣伝費	200		
⑤	貸倒引当金繰入	310	貸倒引当金	310
⑥	有価証券評価損	500	売買目的有価証券	500
⑦	減価償却費	3,600	建物減価償却累計額	1,800
			備品減価償却累計額	1,800
⑧	受取利息	100	前受利息	100
⑨	前払利息	1,000	支払利息	1,000
⑩	売掛金	1,000	売上	1,000
	借方合計	62,760	貸方合計	62,760

解答解説

- ① 現金過不足は、決算日になっても原因が不明であったので、適正な科目に振り替える。

貸方に現金過不足があるという事は、現金が多いという事である。
つまり不明な儲けがあるという事で「雑益」に振り替える。

現金過不足	250	雑益	250
-------	-----	----	-----

- ② 以前2,000円で掛けで販売した商品が返品されていたが、その処理を忘れていた。

売上を取り消す処理をする。取引内容は掛け販売なので、売掛金が減る。

売上	2,000	売掛金	2,000
----	-------	-----	-------

- ③ 商品の期末棚卸高は、25,500円であった。②で返品された商品も含まれている。

試算表に表示されている繰越商品「28,000」は当期首における繰越商品金額です。
つまり、前期末における繰越商品となります。
前期末で残った商品は、今期に販売しますので、費用(仕入)になります。
よって、以下の振替仕訳が必要となります。

仕入	28,000	繰越商品	28,000
----	--------	------	--------

それに対して今期末における商品残高は、今期の費用(仕入)にならず来期に持ち越されます。
よって、以下の振替仕訳が必要となります。

繰越商品	25,500	仕入	25,500
------	--------	----	--------

- ④ 仮払金のうち300円は通信費、残額は広告宣伝費の支払いにかかわるものである事が判明した。

仮払金の内訳がわかったので、それぞれの費目で仕訳を行う。

通信費	300	仮払金	500
広告宣伝費	200		

- ⑤ 受取手形、売掛金および貸付金の期末残高に対して、2%の貸倒引当金を設定する(差額補充法)。

②と⑩の取引から売掛金が1,000円減っている事を加味する。

$$\text{受取手形}20,000 + \text{売掛金}(60,000 - 2,000 + 1,000) + \text{貸付金}10,000 = 89,000$$

$$89,000 \times 0.02 = 1,780$$

$$1,780(\text{設定すべき貸倒引当金}) - 1,470(\text{試算表の貸倒引当金}) = 310(\text{繰り入れる貸倒引当金})$$

貸倒引当金繰入	310	貸倒引当金	310
---------	-----	-------	-----

- ⑥ 売買目的有価証券の時価は5,500円であった。

試算表の表記額6,000円に比べ500円評価額が減っているため、費用が発生している仕訳をする。

有価証券評価損	500	売買目的有価証券	500
---------	-----	----------	-----

- ⑦ 建物および備品に対して定額法により減価償却を行う。

耐用年数: 建物50年 備品10年

なお残存価額は建物、備品とともに取得原価の10%とする。

$$\text{建物: } 100,000(\text{取得原価}) \times 0.9(\text{残存価格を引いた金額}) \div 50(\text{年(耐用年数)}) = 1,800\text{円}$$

$$\text{備品: } 20,000(\text{取得原価}) \times 0.9(\text{残存価格を引いた金額}) \div 10(\text{年(耐用年数)}) = 1,800\text{円}$$

減価償却費	3,600	建物減価償却累計額	1,800
		備品減価償却累計額	1,800

- ⑧ 受取利息は、年利率2%で毎年10月01日に向こう1年分を受け取っている。

試算表の金額＝1年間の利息。

これを前受けしているので、来期分を振り替える。

10月01日に12ヶ月分支払っているので、今期分は6ヶ月。

試算表の金額の半分を振り替える。

受取利息	100	前受利息	100
------	-----	------	-----

- ⑨ 支払利息は、平成12年12月01日に年利率5%で借り入れた30,000円から生じたものの1年分の前払いである。

借入金30,000円の年利率5%なので、一年間の利息は1,500円。

これを前払いしているので、来期分を振り替える。

12月01日に12ヶ月分支払っているので、今期分は4ヶ月。

来期分8ヶ月を振り替える。

前払利息	1,000	支払利息	1,000
------	-------	------	-------

- ⑩ 平成13年03月10日に掛けで販売した1,000円の処理漏れが判明した。

仕訳漏れなので、掛け売上の仕訳をしてやればいい。

売掛金	1,000	売上	1,000
-----	-------	----	-------